

## 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座

## Otorhinolaryngology - Head and Neck Surgery

教授	將積日出夫	Hideo Shojaku
講師	伏木 宏彰	Hiroaki Fushiki
助教	藤坂実千郎	Michiro Fujisaka
助教	石田 正幸	Masayuki Ishida
助教	高倉 大匡	Hiromasa Takakura
助教	西田 悠	Hiroshi Nishida
技術専門職員	武田 精一	Seiichi Takeda
教授(前)	渡辺 行雄	Yukio Watanabe
講師(前)	浅井 正嗣	Masatsugu Asai
助教(前)	丸山 元祥	Motoyoshi Maruyama
助教(前)	小林 健二	Kenji Kobayashi
助教(前)	金沢 佑治	Yuji Kanazawa

## ◆ 著 書

- 1) 將積日出夫：メニエール病の中耳加圧療法とはどのようなものなのか。「めまいを見分ける・治療する」内藤 泰編，332，中山書店，東京，2012.

## ◆ 原 著

- 1) Kanazawa Y., Shojaku H., Okabe M., Fujisaka M., Takakura H., et al. : Application of hyperdry amniotic membrane patches without fibrin glue over the bony surface of mastoid cavities in canal wall down tympanoplasty. *Acta Otolaryngol.*, 132: 1282-1287, 2012.
- 2) Hori E., Shojaku H., Watanabe N., Kawasaki Y., Suzuki M., de Araujo M.F., Nagashima Y., Yada Y., Ono T., and Nishijo H. : Effects of direct cedrol inhalation into the lower airway on brain hemodynamics in totally laryngectomized subjects. *Auton. Neurosci.*, 168: 88-92, 2012.
- 3) Kanazawa Y., Shojaku H., Takakura H., Fujisaka M., Tachino H., Watanabe Y., Tomizawa G., Kawabe H., Shojaku H., Seto H., Otani K., and Fukuoka J. : An essential dose of cisplatin for super-selective intra-arterial infusion concomitant with radiotherapy in patient with maxillary squamous cell carcinoma. *Eur. Arch. Otorhinolaryngol.*, 269: 1985-1991, 2012.
- 4) Matsui S., Taki H., Shinoda K., Suzuki K., Hayashi R., Tobe K., Tokimitsu Y., Ishida M., Fushiki H., Seto H., Fukuoka J., and Ishizawa S. : Respiratory involvement in IgG4-related Mikulicz's disease. *Mod. Rheumatol.*, 22: 31-39, 2012.
- 5) 中川 肇，武田精一，渡辺行雄：耳鼻咽喉科診療に適した電子カルテシステムの開発に関する研究. 耳鼻臨床(補)，134: 1-7, 2012.
- 6) 武田精一，中川 肇，西島由美，藤坂実千郎，十二町真樹子，麻生 伸，渡辺行雄：電子カルテと連携した聴覚検査ファイリングシステムの開発～3年間の稼働状況と今後の課題～. 耳鼻臨床(補)，134: 8-13, 2012.
- 7) 浅井正嗣，上田直子，渡辺行雄：一側前庭機能障害の重心動揺検査—左右方向の特徴の再検討—. 耳鼻臨床(補)，134: 18-27, 2012.
- 8) 將積日出夫，藤坂実千郎，石田正幸，渡辺行雄，杉山久幸，大野秀則，坪田雅仁，赤荻勝一，高倉大匡，伊東宗治：可動耳石・半規管モデル内蔵頭部実態模型による頭部治療時の浮遊耳石の検討. 耳鼻臨床(補)，134: 28-33, 2012.
- 9) 木村 寛，將積日出夫，浅井正嗣，藤坂実千郎，伏木宏彰，成瀬 陽，渡辺行雄：耳鼻咽喉科領域の病変を初期症状とした膠原病症例の分析. 耳鼻臨床(補)，134: 40-43, 2012.
- 10) 藤坂実千郎，十二町真樹子，將積日出夫，武田精一，西島由美，渡辺行雄：当科における TRT 治療成績. 耳鼻臨床(補)，134: 44-46, 2012.
- 11) 丸山元祥，浅井正嗣，渡辺行雄：喉頭展開困難症例に対する Airway Scope を用いた Ejnell 法手術の工夫. 耳鼻臨

床（補），134：81-83，2012.

- 12) 伏木宏彰，阿部秀晴，石田正幸，丸山元祥，小林健二，和田倫之助，渡辺行雄：当科における副咽頭間隙腫瘍手術症例の検討. 耳鼻臨床（補），134：88-95，2012.
- 13) 石田正幸，伏木宏彰，丸山元祥，小林健二，西田 悠，金沢佑治，渡辺行雄：再発頭頸部癌に対するサイバーナイフ治療における重篤な合併症の経験. 耳鼻臨床（補），134：96-100，2012.
- 14) 藤坂実千郎，将積日出夫，舘野宏彦，渡辺行雄，淵澤千春，林 篤志，渡辺一彦，渡辺このみ：涙道内視鏡を併用した鼻内視鏡下涙嚢鼻腔吻合術（DCR）. 耳展，55：115-118，2012.

#### ◆ 症例報告

- 1) Shojaku H., Takakura H., Watanabe Y., and Seto H. : Preoperative embolization of the thyroid artery in a patient with a large papillary carcinoma of the thyroid. *J. Laryngol. Otol.*, 126: 955-959, 2012.
- 2) Tachino H., Fushiki H., Ishida M., and Watanabe Y. : A low-grade chondrosarcoma presenting as an unusual cervical mass in the hyoid bone: a case report. *Journal of Medical Case Reports*, 6: 21, 2012.
- 3) 坪田雅仁，中川 肇，渡辺行雄：聴力低下とめまいを主訴とした小脳梗塞の2例. 耳鼻臨床（補），134：47-52，2012.
- 4) 西田 悠，藤坂実千郎，渡辺行雄：中耳非結核性抗酸菌症例. 耳鼻臨床（補），134：53-57，2012.
- 5) 金沢佑治，将積日出夫，渡辺行雄：鼓室型グロームス腫瘍例. 耳鼻臨床（補），134：58-62，2012.
- 6) 赤荻勝一，高倉大匡：鼻腔内に逆生した過剰歯列. 耳鼻臨床（補），134：66-69，2012.
- 7) 舘野宏彦，安村佐都紀，将積日出夫，西田 悠，渡辺行雄，高野康雄，福岡順也，石井陽子：高齢発症の鼻腔原発胞巣型横紋筋肉腫剖検例. 耳鼻臨床（補），134：70-75，2012.
- 8) 高倉大匡，将積日出夫，藤坂実千郎，渡辺行雄：魚骨異物が疑われたEagle症候群例. 耳鼻臨床（補），134：76-80，2012.
- 9) 阿部秀晴，赤荻勝一，渡辺行雄：急性石灰沈着性頸長筋腱炎例. 耳鼻臨床（補），134：84-87，2012.
- 10) 小林健二，成瀬 陽，原 寛，中西亮人，伏木宏彰，渡辺行雄：耳下腺原発 Polymorphous low-grade adenocarcinoma 症例. 耳鼻臨床（補），134：101-104，2012.

#### ◆ 総 説

- 1) 将積日出夫：動的体平衡検査. *Entoni*, 141: 30-34, 2012.

#### ◆ 学会報告

- 1) 浅井正嗣，上田直子，渡辺行雄：重心動揺と頭部・腰部動揺の方向性について. 第10回姿勢と歩行研究会，2012，3，24，東京.
- 2) 渡辺行雄，浅井正嗣，上田直子：周波数分析を応用した重心動揺図評価法の検討. 第10回姿勢と歩行研究会，2012，3，24，東京.
- 3) 藤坂実千郎，将積日出夫，石田正幸，成瀬 陽，西田 悠，舘野宏彦，高倉大匡，安村佐都紀，渡辺行雄：鼻副鼻腔内反型乳頭腫・扁平上皮癌併存例のFDG PET 所見. 第58回日耳鼻富山県地方部会，2012，4，1，富山.
- 4) 高倉大匡，赤荻勝一，東 晃：扁桃周囲膿瘍に続発した難治性咽頭潰瘍の一例. 第58回日耳鼻富山県地方部会，2012，4，1，富山.
- 5) 西田 悠：サル海马における神経活動と睡眠ステージにおける相関. 第58回日耳鼻富山県地方部会，2012，4，1，富山.
- 6) 上田直子，浅井正嗣，渡辺行雄：一側前庭障害患者の重心動揺と身体動揺. 第20回耳鼻咽喉科リハビリテーション医学研究会，2012，4，14，東京.
- 7) 丸山元祥，石田正幸，小林健二，伏木宏彰：TPF療法の副作用対策を目的としたボフロキサシン予防投与の有用性について. 第30回北陸頭頸部腫瘍研究会，2012，4，20，金沢.
- 8) 舘野宏彦，藤坂実千郎，将積日出夫，渡辺行雄：後部篩骨洞・蝶形骨洞に発症したムコール真菌症の1例. 第22回北陸耳鼻咽喉科感染症研究会，2012，4，21，金沢.
- 9) 将積日出夫，渡辺行雄，十二町真樹子，浅井正嗣，藤坂実千郎：難治性内リンパ水腫疾患に対する中耳加圧療法の比較. 第113回日本耳鼻咽喉科学会，2012，5，10-12，新潟.
- 10) 石田正幸，松井祥子，伏木宏彰，藤坂実千郎，山田 徹，三輪敏郎，林 龍二，戸邊一之：IgG4関連疾患におけ

る副鼻腔 CT 所見の検討. 第 33 回富山免疫アレルギー研究会, 2012, 5, 24, 富山.

- 11) Fujisaka M., Shojaku H., Kanazawa Y., Takakura H., Tachino H., Watanabe Y., Okabe M., and Nikaido T. : Fibrin glue essential for attachment of hyperdry amniotic membrane patches over the bony surface of mastoid cavities in canal wall down tympanoplasty? ISSCR 11th annual meeting, 2012, 6, 13-16, Yokohama.
- 12) 藤坂実千郎, 將積日出夫, 渡辺行雄 : 半規管内蔵頭部モデルによる良性発作性頭位めまい症に対する頭位治療への教育効果. 第 74 回耳鼻咽喉科臨床学会. 2012, 7, 5-6, 東京.
- 13) 石田正幸, 伏木宏彰, 成瀬 陽 : 腫瘍を疑わせた若年者両側声帯炎症性病変の 1 例. 第 74 回耳鼻咽喉科臨床学会, 2012, 7, 5-6, 東京.
- 14) 館野宏彦, 將積日出夫, 高倉大匡, 藤坂実千郎 : 放射線併用超選択的動注化学療法が奏功した鼻腔悪性黒色腫の 1 例. 第 60 回日耳鼻中部地方部会連合会, 2012, 7, 14, 浜松.
- 15) 藤坂実千郎, 將積日出夫, 渡辺行雄 : 半規管内蔵頭部モデルによる良性発作性頭位めまい症に対する頭位療法への教育効果. 第 12 回北陸めまい研究会, 2012, 9, 2, 金沢.
- 16) 藤坂実千郎, 館野宏彦, 將積日出夫 : 鼻科・口腔手術における新規ヒト乾燥羊膜 (HYPER-DRY 羊膜) の有用性の検討. 第 315 回北陸地方部会連合会, 2012, 9, 2, 金沢.
- 17) 中西亮人, 藤坂実千郎, 館野宏彦, 將積日出夫 : 当科における低侵襲人工内耳手術の経験. 第 315 回北陸地方部会連合会, 2012, 9, 2, 金沢.
- 18) 館野宏彦, 將積日出夫, 藤坂実千郎 : 放射線併用超選択的動注化学療法が奏功した鼻腔腺癌の 1 例. 第 51 回日本鼻科学会, 2012, 9, 27-29, 千葉.
- 19) 藤坂実千郎, 將積日出夫, 渡辺行雄 : 当科における低侵襲人工内耳手術の経験. 第 22 回日本耳科学会, 2012, 10, 4-6, 名古屋.
- 20) 高倉大匡, 將積日出夫, 藤坂実千郎, 渡辺行雄, 坪田雅仁, 大野秀則 : 可動耳石・半規管モデル内蔵頭部実態模型による頭位治療時の浮遊耳石の検討. 第 22 回日本耳科学会, 2012, 10, 4-6, 名古屋.
- 21) 藤坂実千郎, 將積日出夫 : 骨導刺激により誘発記録される SVR の検討. 第 57 回日本聴覚医学会, 2012, 10, 11-12, 京都.
- 22) 西島由美, 武田精一 : 当科における難聴が疑われた 0 歳児の受診状況—平成 22 年度, 23 年度を中心に—. 第 12 回北陸言語聴覚学術集会, 2012, 10, 21, 金沢.
- 23) 藤坂実千郎, 館野宏彦, 成瀬 陽, 西田 悠, 將積日出夫 : ハイドロデブリッダーシステムの使用経験について. 第 14 回耳鼻咽喉科手術支援システム・ナビ研究会, 2012, 11, 3, 東京.
- 24) 浅井正嗣, 渡辺行雄 : 一側前庭障害の重心動揺検査の再検討. 第 59 回日耳鼻富山県地方部会, 2012, 11, 25, 富山.
- 25) 藤坂実千郎, 館野宏彦, 淵澤千春, 林 篤志, 將積日出夫 : 当科における涙嚢鼻腔吻合術 (DCR) について (第 2 報). 第 59 回日耳鼻富山県地方部会, 2012, 11, 25, 富山.
- 26) 成瀬 陽, 高倉大匡, 赤荻勝一 : 内視鏡下に摘出術施行した耳下腺導管内唾石症の 1 例. 第 59 回日耳鼻富山県地方部会, 2012, 11, 25, 富山.
- 27) 阿部秀晴, 赤荻勝一, 北川和久 : 急性石灰沈着性頸長筋腱炎の 2 例. 第 59 回日耳鼻富山県地方部会, 2012, 11, 25, 富山.
- 28) 將積日出夫 : VEMP 基礎実験の可能性. 第 71 回日本めまい平衡医学会シンポジウム 1 「VEMP の基礎研究と臨床応用の方向性」, 2012, 11, 28-30, 東京. (招待講演)
- 29) 高倉大匡, 將積日出夫, 渡辺行雄 : 近赤外線分光法 (NIRS) を用いた動的姿勢制御中の中枢応答の解析 (第 2 報). 第 71 回日本めまい平衡医学会, 2012, 11, 28-30, 東京.

#### ◆ その他

- 1) 將積日出夫 : 前庭機能異常に関する調査研究—疫学調査, メニエール病の診断と治療—. 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) 分担研究報告書, 「厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) 前庭機能異常に関する調査研究平成 23 年度総括・分担研究報告書」, 51-54, 2012.
- 2) 將積日出夫, 渡辺行雄, 青木光広, 池園哲郎, 伊藤壽一 他 : 2011 年内リンパ水腫疾患疫学調査結果. 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) 分担研究報告書, 「厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) 前庭機能異常に関する調査研究平成 23 年度総括・分担研究報告書」, 83-86, 2012.
- 3) 高倉大匡, 將積日出夫, 渡辺行雄 : 姿勢制御に関わる脳機能マッピング—近赤外線法 (NIRS) による検討—. 厚生

労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）分担研究報告書，「厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）前庭機能異常に関する調査研究平成 23 年度総括・分担研究報告書」，107-108，2012.

- 4) 將積日出夫，渡辺行雄，藤坂実千郎，浅井正嗣：難治性内リンパ水腫疾患に対する中耳加圧療法の経験. 厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）分担研究報告書，「厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）前庭機能異常に関する調査研究平成 23 年度総括・分担研究報告書」，133-135，2012.
- 5) 渡辺行雄，將積日出夫：メニエール病重症度判定基準の再検討について. 厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）分担研究報告書，「厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）前庭機能異常に関する調査研究平成 23 年度総括・分担研究報告書」，204-207，2012.
- 6) 渡辺行雄：めまいとともに 40 年. 第 77 回富山大学医学会学術集会 教授退任記念講演会，2012，2，8，富山.
- 7) 渡辺行雄：めまいの病態と治療. 第 2336 回新潟市医師会臨床懇話会 特別講演，2012，2，22，新潟.（招待講演）
- 8) 渡辺行雄：耳鼻咽喉科のよもやま話. 第 57 回耳の日公開講座，2012，3，4，富山.
- 9) 金沢佑治：扁桃の疾患. 第 57 回耳の日公開講座，2012，3，4，富山.
- 10) 成瀬 陽：アレルギー性鼻炎—私の治療—，新しい電気凝固器械の使用感と今後. 第 60 回富山県耳鼻咽喉科臨床研究会 学術講演 1，2012，3，15，富山.（招待講演）
- 11) 西島由美，武田精一：当科における難聴が疑われた乳児の状況 0 歳児の受診状況. 富山県言語聴覚士会 発達・聴覚小委員会，2012，4，7，富山.
- 12) Fujisaka M.：Cochlear implantation in a patient with eosinophilic otitis media. Cochlear Technology and Research Lab，2012，8，7-10，Sydney.
- 13) 藤坂実千郎，中西亮人：聴覚医学会の興味ある演題について. 第 258 回富山県聴覚障害者研究会，2012，11，21，富山.
- 14) 將積日出夫：難治性めまいに対する診断と治療—Update—. 第 37 回富山県耳鼻咽喉科疾患研究会 特別講演，2012，11，25，富山.（招待講演）
- 15) 將積日出夫：遅発性内リンパ水腫の診断と治療—最近の動向—. 第 11 回上越耳鼻咽喉科セミナー 特別講演，2012，12，8，上越.（招待講演）